

サイドイベント

災害後の初期対応から復旧・復興への過渡期における 諸課題

第3回国連防災世界会議サイドイベント



Photo: Soichiro Mihara, Creative Commons BY-NC (cropped)

3月16日(月)、国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)は、国連防災世界会議期間中のサイドイベントとして、**災害後の初期対応から復旧・復興への過渡期における諸課題～東日本大震災からの教訓**と題したパネル討論を仙台市にて開催します。

本パネル討論では、災害後の当面の対応と復旧から、より長期的な取り組みを要する復興への過渡期に生じる諸課題に着目します。東日本大震災とその後の原発事故で被災した地域からの例を踏まえ、住宅供給・雇用・医療／健康管理・福祉や地域活性化などの分野で表れる、現場のニーズと対応する政策とのミスマッチについての議論を促します。

プログラム

9:10-9:15 開催挨拶

9:15-10:45 パネリストによる発表

- モシニャガ アンナ UNU-IAS
- 石川永子 千葉大学
- 秋富慎司 岩手医科大学
- 立木茂雄 同志社大学
- 永松伸吾 関西大学
- クリストファー・ホブソン 早稲田大学/UNU-IAS

10:45-11:40 ディスカッション

言語

本イベントは、日本語と英語の同時通訳があります。

FUKUSHIMAグローバルコミュニケーション事業

このイベントは、UNU-IASが実施しているFUKUSHIMAグローバルコミュニケーション事業の一環として行われます。本事業では、東日本大震災と原発事故が人々や社会に及ぼしている影響と福島における復興プロセスの課題に着目しています。

2015年3月16日(月)

9:10-11:40

場所

東京エレクトーンホール宮城
601大会議室
仙台市青葉区国分町3-3-7